



マラソン大会

『一人ひとりが主役になれる学校』

前期最終日であった9月28日(水)、感染対策を取りながら、第52回校内マラソン大会を実施しました。当日は秋晴れの空のもと、男子10km、女子8kmのコースを、全校生徒がひたむきにゴールを目指しました。一人ひとりがゴールを目指す姿は、清々しく、先には必ずゴールがあることを感じながら、友人と共に汗を流しました。

給水地点・ゴール地点ではPTAの皆さんにご協力いただきました。また、今年度は豚汁を作って、生徒、教員に振る舞っていただきました。多数の参加ありがとうございました。富川高校では今後も感染予防に努めながら、教育活動を充実させていきます。



高文連～美術全道大会～

美術部は10月6日(金)に岩見沢市で行われた第56回全道高等学校美術展・研究大会に出場・出展し、優秀賞を受賞しました。今年度は新型コロナウイルスの感染対策をしながら、交流会や研修会など、コロナ禍前の大会に近づけようとする動きがありました。大会に参加し、得られたものが多くあり、肌で感じたこの体感が貴重な経験となりました。



11・12月行事予定

11/21-

後期中間考査

12/24~

冬季休業

大学訪問

本校1学年では進路選択の視野を広げるために「大学訪問」を総合的な探究の時間で行なっています。10月24日(月)に感染予防対策をしながら3年ぶりに実際に訪問を行うことができました。

ご協力いただいた大学は北海道文教大学、北海道情報大学の2大学で、「看護師について」、「国際教養について」、「子どもとのふれあい」、「IoTプログラミング」などの講義を受けました。それぞれの進路選択の幅が広がる有意義な時間になりました。



令和4年度進路活動について

進路生活部より

今年は「3年ぶりの～」という枕詞をよく耳にします。合同企業説明会や合同面接会、進路ガイダンスや資料頒布会も各地で盛んに行われるようになりました。求人数は増加傾向にあり、富川高校にも多くの企業や大学関係の方が来て、応募や見学の説明をしてくれました。学校の教育活動に協力的な団体も多く、生徒達にとり、進路活動がしやすい環境が整いつつあると言って良いでしょう。しかし、この状況がいつまで続くかは不透明です。環境に甘えず、変化する社会に対応できる人材を育成するため、今後も計画的かつ組織的な指導を継続して参ります。

近年、本校の就職希望者は、地元に限らず、苫小牧・札幌などを視野に入れ、自分のやりたい仕事や向いている仕事を探す傾向があります。作文や一般教養試験を課し、2次選考まで実施する企業もありますが、公務員志望を含め、書類・筆記段階での通過率は100%となっており、対策の効果が表れていると言えます。進学希望者は札幌近郊が中心ですが、道外や道内遠方を受験する生徒も一定数あります。また経済的負担を軽くして進学する方法として、特待生制度があります。本年度、この特待生制度を活用した全ての生徒が、特待生として採用されました。これも全教員で実施している面接指導の効果と言えます。就職・進学どちらであっても生徒の一生を左右する選択となりますので、これまでと同様、一人ひとりと向き合って今後も進路活動を全教職員で支援して参ります。